

【1年生を迎えて】

入学式からまもなく一ヶ月が過ぎようとしています。1年生には5時間目までの授業は長く感じることでしょう。担任、副担任からの報告では、朝ごはんから昼ごはんまでの時間がこれまでより長くなったためか途中でおなかがすいてしまって元気がなくなってしまう子や、ときどきお母さんに会いたくなくなってしまっている子もいるそうです。でも、友だちと遊ぶ時間はそんなことも忘れてしまうほど元気いっぱいです。もう少しで生活のリズムもできてくると思います。それまでの間は、体調管理も含めてまわりでしっかりと見守ってあげないといけないでしょう。

始業式から数日が経過し、6学年の子どもたちの交わりの場も増えてきたころ、新年度になって2度目に全校児童が集合したのが対面式でした。名前を呼ばれて少し緊張しながら返事をして立ち上がる1年生を上級生が見つめます。私には上級生の1年生を見る眼差しがとても温かいものを感じられました。

私はその場で、子どもたちに二つのことを話しました。その一つは、「誰もができる挨拶をしっかりとしましょう。挨拶をするときは、必ずその人の目を見ます。挨拶は人と人との関わりの始まりです。」 もう一つは、「人は誰かにやさしくしてもらおうととても嬉しいです。そのときは感謝の心をお返しします。そして、人は誰かに優しくしてあげたいと思います。こういう優しさのやりとりを大切にしていきましょう。」でした。

また、次の朝会の際には、「やさしさってどういうものでしょう」と子どもたちに問いかけ、学校で大切にしたいことをいくつか話しました。例えば、廊下を広がって歩かないようにし、必ず右側通行をして他の人たちが安心して歩けるようにすること、ドッジボールなどでボールをとる位置、投げる位置をしっかりと守ることでみんなが安心して遊ぶことができるようにすること。そういうこともやさしさの気持ちの表現であることも伝えました。

【日記を大切に】

子どもたちに日記を書くように声をかけてきてもう何年も経ちます。3・4年生ではそれを日々の課題にしています。現在は、他の学年の多くの子も日記を書いています。クラスを担当する担任と副担任が毎日の子どもの日記を読み、できるだけコメントを書いて返却するようにしています。一人ひとりの日記には子どもたちのいろいろな思いが綴られていて、今では子どもたちのことを理解し、そしてどんな声かけが必要かを考える上でも、欠かせないものの一つになっています。

先日、1年生が書いた日記を見せてもらいました。まだひらがなも勉強中ですが、絵と少しの文字からその子の日々の生活の様子をうかがい知ることができたような気がしました。書き始めてからまだ10日もたっていないようでしたが、そこにある文字には明らかに上達が見られました。もう始まっているのですね。継続することの大切さと日記が書きたくなるような日々の学校生活です。

ときどき日記に書くことが浮かばない・見つからないと言う子がいるようですが、「あ、そうだ！そのことを書いてみよう」と思えるきっかけを作ってくれるような家族の会話があるとよいだろうと思います。机に向かって何を書こうかと考えるのもよいかもしれませんが、家族の会話の中から何かが見つかることもあると思います。

日記は一日の振り返りで終わるものではなく、明日の自分に元気をくれるものであってほしいです。

【届かないと言わず届けよう】

子どもと向き合って話をするとき、子どもの目が自分を見ていないと感じることはないでしょうか。学校では先生たちから、なかなか子どもに伝わらない、何度か同じことを話しているのだけど・・・というような話を聞くことがあります。そのようなことで名前の上がる子どもたちと話をしてみると、話し手である私をしっかりと見ることができていないと感じることが多いです。

自分が子どもに伝えたいことがあってもなかなか伝わらないと思うとき、最初に考えるのは自分と子どもの関係です。本来そこにあるべき信頼関係が作られていないとすれば、子どもの心をつかみながら話すことはできないかもしれません。しかし、それでも大切なことはしっかりと伝えなければならないです。

学校でも、家庭でも「相手を見て話す・相手を見て聞く」ことが当たり前に行われることが大切です。授業でも休み時間でも、言葉のやりとりをする場面はたくさんあります。そういうときに、きちんと自分の思いを伝えるためにはどうしたらよいか、人の言葉をしっかりと聞くためにはどうしたらよいかを考えさせ、実行できるようにしていかなければなりません。家庭においては、親子がお互いに伝えたいことをしっかりと最後まで言葉で表現するなど心にかけていただけるとよいのではないかと思います。そうすることで、今まで届きにくかった声子どもたちにしっかりと届くようになるのではないのでしょうか。また、子どもから教師や親への声も届くようになると思います。